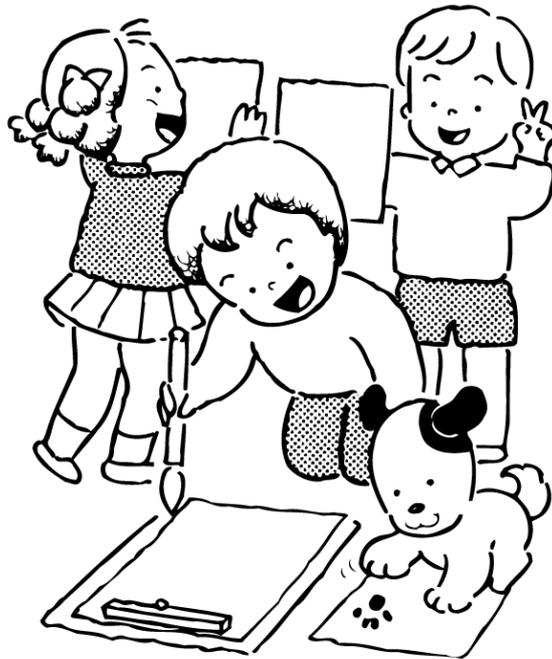


学習案内

シラバス 第3学年



鴻巣市立馬室小学校

3年生「国語」

【第3学年の目標】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

| 月 | 主に学習すること | 主な学習のねらい |
|----|--|---|
| 4 | きつつきの商売 | ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるようにします。 |
| 5 | 言葉で遊ぼう こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心 | ◎段落の役割について理解することができるようにします。 ◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができるようにします。 |
| 6 | まいごのかぎ | ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができるようにします。 ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるようにします。 |
| 7 | 仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など | ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるようにします。 |
| 9 | ちいちゃんのかげおくり | ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるようにします。 |
| 10 | はんで意見をまとめよう | ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができるようにします。 |
| 11 | すがたをかえる大豆 【じょうほう】科学読み物での調べ方 食べ物のひみつを教えます | ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができるようにします。 |
| 12 | たから島のぼうけん | ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるようにします。 |
| 1 | ありの行列 | ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるようにします。 |
| 2 | これがわたしのお気に入り | ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができるようにします。 |
| 3 | モチモチの木 | ◎登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができるようにします。 |

【評価について】

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
- (2) 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめている。
- (3) 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをまとめたりしながら、言葉がもつよさに気付こうとしているとともに、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆音読カードを使い、声に出して読む学習を高めています。
- ◆ドリルやプリント、ワークシートを使い、文字を正しく書けるように繰り返し練習します。
- ◆読書タイムや読書週間に、読み聞かせのボランティアの方に協力をいただき、読書を奨励しています。
- ◆漢字が習得できるように、10問ずつの漢字ショートテストや学期ごとに漢字テストを実施しています。
- ◆総合的な学習と結びつけて、「目的や意図に応じて」書くようにしています。

3年生「書写」

【第3学年の目標】

- (1) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができるようにする。
 (2) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるようにする。
 (3) 点画の種類を理解するとともに、毛筆を使用して筆圧などに注意して書くことができるようにする。

| 月 | 学習すること | 学習のねらい |
|----|--|---|
| 4 | 毛筆のきほん 学習の進め方 用具のじゅんび/用具のかたづけ 書くときのしせい 筆の持ち方/うでの使い方 硬筆展 | ○毛筆用具の準備の仕方と片づけ方を理解できるようにします。 ○毛筆で書く時の姿勢を正しくするようにします。 ○毛筆の持ち方を正しくして線を書くようにします。 ○硬筆展の作品を丁寧に書けるようにします。 |
| 5 | 漢字の筆使い 点画のしゅい 「横画」 | ○点画の種類を理解できるようにします。 ○毛筆を使用して、横画・縦画・おれの書き方への理解を深めて書くことができますようにします。 |
| 6 | 「たて画」 「おれ」 | |
| 7 | 手紙の書き方〈国語〉 | ○手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書けるようにします。 |
| 9 | 力の入れ方 「左はらい」「右はらい」 「点」「はね」 | ○毛筆を使用して、左はらい・右はらい・点・はね・曲がりの書き方への理解を深め筆圧などに注意して書けるようにします。 |
| 10 | 「曲がり」 こう筆のまとめ | ○文字の中心を理解するとともに、横書きの書き方や片仮名の筆使いに気をつけて書けるようになります。 |
| 11 | 小筆の使い方 漢字の組み立て 文字の配列 | ○小筆の使い方を理解して書けるようにします。 ○左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くようにします。 |
| 12 | 行の中心 横書きの書き方〈社会〉 平がなの筆使い 丸み | ○行の中心に注意して読みやすく書くようにします。 ○横書きの書き方に注意して書けるようにします。 ○毛筆を使用して、平仮名の筆使いへの理解を深め筆圧などに注意して書けるようにします。 |
| | 言葉を楽しもう〈国語〉 漢字図かん 書きぞめ展 まとめ 書きぞめ 三年生のまとめ | ○今までに学習した知識・技能を生かして書けるようになります。 ○太筆や中筆の持ち方や扱い方を理解して、書きぞめ展の作品を丁寧に書けるようにします。 ○三年生で学習したことを生かして書けるようになります。 |
| 1 | やってみよう | |
| 2 | ノートに自分の考えを書こう | |
| 3 | 筆をあらおう [もっと知りたい] 筆ができるまで 「たいせつ」のまとめ 空に大きく書こう | ○毛筆の洗い方や乾かし方を理解できるようにします。 ○筆の作り方を理解します。 ○横画・右はらいの書き方への理解を深めて空書きします。 |

【評価について】

- (1) 文字の大きさや配列に気を付けて、丁寧に書いている。
 (2) 毛筆では点画の接し方、交わり方、方向、文字の組立てなどを理解して、筆圧に気を付けて正しく書いている。

【学習の特色や工夫】

- ◆毛筆作品を教室に展示して、自己評価をしていきます。
- ◆6月に校内硬筆展、12月に校内書きぞめ展が行われます。

3年生「社会」

【第3学年の目標】

- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を考える力，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力，考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，主体的に学習の問題を解決しようとする態度や，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに，思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚を養う。

| 月 | 学習すること | 学習のねらい |
|----|-----------------------|--|
| 4 | ○わたしたちのまち 鴻巣市 | <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのすむ鴻巣市の特徴ある地形、土地利用の様子や集落の分布、交通の様子などについて観察したり地図に表したりして、地域の人々の生活は、自然環境と深い関係があることや、場所によって違いがあることを理解できるようにする。 ・わたしたちの地域では、人々が生産や販売に関する仕事をしていて、私たちの生活を支えていることが分かるようにする。 ・身近な地域の生産活動や販売活動の様子について、観察したり、表現したりすることを通して、仕事の特色や他地域との関わり、仕事に携わっている人々の工夫を具体的に考えることができるようにする。 ・地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。 ・地域には生産や販売に見られる仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていることや地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわりについて、理解できるようにする。 |
| 5 | ・学校のまわりのようす | |
| 6 | ・鴻巣市のようす | |
| 7 | | |
| 9 | ○わたしたちのくらしをささえる人々のしごと | |
| 10 | ・スーパーマーケットではたらく人々の仕事 | |
| 11 | ・花作り農家の仕事 | |
| 12 | ・人形工場の仕事 | |
| 1 | ○わたしたちのくらしのうつりかわり | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々の生活について、家屋や道具などの移り変わりを中心に調べたり、年表にまとめたりして、地域の人々の生活は、およそ百年の間に大きく変わってきたことを理解させるようにするとともに、地域の文化財や年中行事に関心を持ち、人々の願いについて考えることができるようにする。 |
| 2 | ・むかしのくらし | |
| 3 | ・昔からつたわるもの | |

【評価について】

(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子，地域の様子の移り変わりについて，人々の生活との関連を踏まえて理解しているとともに，調査活動，地図帳や各種の具体的資料を通して，必要な情報を調べまとめている。

(2) 地域における社会的事象の特色や相互の関連，意味を考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したり，考えたことや選択・判断したことを表現したりしている。

(3) 地域における社会的事象について，地域社会に対する誇りと愛情をもつ地域社会の将来の担い手として，主体的に問題解決しようとしたり，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

【学習の特色や工夫】

(1) 多様な資料の収集を考え、広く情報を集めています。

(2) 社会科見学を行い、実際に見聞したり、体験したりして学習内容の定着を図っています。

(3) 地図や統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用して調べたり、調べたことを目的に応じた方法で表現したりする力を育てるようにします。

3年生「算数」

【第3学年の目標】

- (1) 数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の内容、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力を養う。
- (3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

| 月 | 主に学習すること | 主な学習のねらい |
|----|---|--|
| 4 | 1. かけ算 $a \times \square = b$, $\square \times a = b$ | ○被乗数、乗数の一方または両方が0のときの乗法や、乗法について成り立つ性質やきまりなどの理解を深め、乗法を用いる能力をいっそう高めていきます。 |
| | 2. 時ごとと時間のもつめ方 ・どちらが長いかな? | ○時刻や時間の概念について理解し、それらを用いる能力を身に付けるとともに、簡単な場合について時刻や時間を求める計算のしかたを理解します。 |
| 5 | 4. わり算 $12 \div 3 = 4$ | ○除法の意味について理解し、それを用いる能力を身に付けるかさの比喩などを通して、かさの概念や測定、及びその単位について理解するとともに、それを用いる能力を身に付けます。 |
| | 5. たし算とひき算の筆算 | ○3～4位数の加減計算の筆算のしかたについて理解し、それを用いる能力を高めていきます。 |
| 6 | 3. 長いものの長さのはかり方 | ○長いものの長さの測定を通して、長さの概念について理解を深めるとともに、目的に応じて単位や計器を適切に選択して測定する能力を身に付けます。 |
| | 6. 暗算 | ○2位数どうしの加法、減法の暗算のしかたを理解するとともに、その暗算の能力を身に付けます。 |
| 7 | 7. あまりのあるわり算 | ○除数と商が1位数であり、あまりのある除法計算について理解し、それを用いる能力を高めていきます。 |
| 9 | 8. 大きい数のしくみ | ○一億までの数の読み方、書き方、位取りの原理、数の構成について理解し、それを用いる能力を高めていきます。 |
| | 9. かけ算の筆算(1) | ○2～3位数に1位数をかける乗法と筆算形式について理解し、それを用いる能力を高めていきます。 |
| 10 | 10. 大きい数のわり算 | ○何十を1位数でわる除法計算(あまりなし)・2位数÷1位数で、十の位と一の位でわりきれぬ除法について理解するとともに、それを用いる能力を高めていきます。 |
| | 13. 円と球 | ○円や球の概念や性質を理解し、それらを構成したり用いたりする能力を身に付けます。(コンパスの機能と使い方) |
| 11 | 11. 小数 | ○小数第1位までの加減計算のしかたについて理解しそれを用いる能力を高めていきます。 |
| | 12. 重さのたんいと はかり方 | ○重さの比較などを通して重さの概念や測定、及び単位について理解するとともに、それを用いる能力を身に付けます。 |
| 12 | 14. 分数 | ○分数の意味と表し方、同分母分数の加減計算について理解しそれを用いる能力を高めていきます。 |
| 1 | 15. □を使った式 | ○未知の数量を□として、加法、減法、乗法の式で表し、□の値を求めることを理解しそれを用いる能力を高めていきます。 |
| | 16. かけ算の筆算(2) | ○2～3位数に2位数をかける乗法と筆算形式について理解しそれを用いる能力を高めていきます。 |
| 2 | 倍の計算 | ○数量の関係や倍の意味について理解し比数量や基準量、割合を求める能力を高めていきます。 |
| | 17. 三角形と角 | ○二等辺三角形や正三角形の概念や性質について理解し、それを構成したり用いたりする能力を伸ばします。 |
| 3 | 18. ぼうグラフと表 | ○資料を分類整理して表や棒グラフに表したり、それらを読んだりする能力を身に付けます。 |
| | そろばん | ○そろばんによる数の表し方を知り、そろばんによる簡単な加減計算ができるようになります。 |
| | ★3年のふくしゅう | ○3学年の学習内容の総復習をします。 |

【評価について】

(1) 数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の内容、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。また、整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。

(2) 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力を身に付けている。

(3) 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆少人数・T T指導で学習を進めていきます。学習内容により習熟度別グループで学習します。
- ◆教科書だけでなく、ドリル学習や問題プリントを使った学習も進めていきます。
- ◆身近にある具体物を使ったり、実際に測ったり調べたりする活動をたくさん取り入れて学習を進めていきます。
- ◆既習事項を基にして自力解決の時間を設けます。また、自分の考えをノートにまとめたり、グループ、全体の中でお互いの考えを発表したりします。

3年生「理科」

【第3学年の目標】

- (1) 単元の学習内容について理解しているとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 単元の内容について追究する中で、主に差異点や共通点を基に、問題を見出す力を養う。
- (3) 単元の内容について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題を解決しようとする態度を養う。

| | 月 | 学習すること(単元名) | 学習のねらい |
|-------------|---------------|----------------------------|--|
| 1 学 期 | 4 | 1 生き物を調べよう | 生物に興味・関心をもち、愛護する態度を育てるとともに、身のまわりの生物の様子を比較しながら調べ、生物の形態についての見方や考え方を養います。 |
| | 4 ～ 5 | 2 植物を育てよう | 身近な植物を育て、生物を愛護する態度を育てるとともに、植物の成長のきまりや体のつくりについての見方や考え方を養います。 |
| | 5 ～ 6 | 3 チョウを育てよう | 身近な昆虫を探したり育てたりして、生物を愛護する態度を育てるとともに、昆虫の成長のきまりについての見方や考え方を養います。 |
| | 6 ～ 7 | 4 風やゴムの力 | 風やゴムで物が動く様子を比較しながら調べ、風やゴムの働きについての見方や考え方を養います。 |
| | 7 ～ 9 | ○ 葉をだしたあと | 春から育てている植物の成長の過程を比較しながら調べ、生物を愛護する態度を育てるとともに、植物の成長のきまりについて見方や考え方を養います。 |
| 2 学 期 | 9 | 5 こん虫の世界 ○ 花をさかせたあと | 身近にいるいろいろな昆虫探しを通して、生物を愛護する態度を育てるとともに、昆虫とその周辺の環境との関係についての見方や考え方を養う。また、昆虫の体を比較しながら調べ、昆虫の体のつくりについての見方や考え方を養います。 |
| | 10 | 6 太陽と地面 | 日なたと日かげの地面の様子を比較しながら調べ、太陽と地面の様子との関係についての見方や考え方を養います。 |
| | 10 ～ 11 | 7 光 | 鏡などを使い、光の進み方や物に光を当てたときの明るさやあたたかさを比較しながら調べ、光の性質についての見方や考え方を養います。 |
| | 11 | 8 音 | 糸電話や太鼓などを使い、音が出ている時のものの震え方や音の伝わり方について見方や考え方を養います。 |
| 3 学 期 | 12 | 9 ものの重さ | 粘土などを使い、同じ大きさで形の違う物の重さを比較しながら調べ、形や質の違いによる物の重さについての見方や考え方を養います。 |
| | 1 ～ 2 | 10 電気の通り道 | 乾電池に豆電球などをつなぎ、電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方や電気を通す物と通さない物とを比較しながら調べ、電気の回路についての見方や考え方を養います。 |
| | 2 ～ 3 | 11 じしゃく | 磁石につく物や磁石の働きを比較しながら調べ、磁石の性質についての見方や考え方を養います。 |
| | 3 | ○ 作って遊ぼう | これまで学習してきた電気や磁石の性質やはたらきを利用したおもちゃを作って、電気や磁石の性質の見方や考え方を養います。 |

【評価について】

- (1) 学習内容について理解しているとともに、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの結果をわかりやすく記録している。
- (2) 学習内容について、観察、実験を行い、主に差異点や共通点を基に、問題を見出し、表現するなどして問題解決している。
- (3) 学習内容についての事物・現象に進んで関わり、他者とかかわりながら問題解決しようとしているとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆ほうせんかを育てたり、こん虫を育てたり、世話をしたりします。根気と生き物の命を大切にする心を育てます。
- ◆自然の事ごらの違いに気づき、比較して学習を進めていくために、ノートや観察記録がポイントとなります。記録を残すことが大切な要素となります。
- ◆電気や磁石の単元では、もの(おもちゃ)を作りながら、学習を進めていきます。作り上げる喜びを感じながら、実感のともなった理解ができるようにします。

3年生「音楽」

【第3学年の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- (3) 進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いあるものにしようとする態度を養う。

| 月 | 学習すること | 学 習 の ね ら い |
|--------------|-------------------------------|---|
| 4 | 1 音楽で心をつなげよう | ○歌詞の内容、旋律、リズムや拍と曲想との関わりに気づき、自然で、無理のない声で歌ったり演奏したりします。 |
| 5 | 2 歌って音の高さをかんとろう | ○ハ長調の読譜を習得したり旋律の特徴を生かしながらどのように表現するか考えを持ちます。 |
| 6 | 3 リコーダーのひびきをかんとろう | ○リコーダーの基本的な演奏の仕方を身に付けます。 |
| | 4 拍によってリズムをかんとろう | ○拍によって表現する技能や反復や変化を用いてまとまりのあるリズムを作ります。 |
| 7 | 5 せんりつのとくちょうをかんとろう 音楽会にむけて | ○音の上がり下がりの特徴に気づき、拍子や強弱と曲想の関わりに気づきそれを生かす表現を身に付けます。 |
| 9 | 6 曲のかんじをいかそう | ○楽器の音色、旋律の反復や変化が生み出す曲の良さを感じ取ります。 |
| 10 | | ○いろいろな楽器に親しんで音楽会練習をします。 |
| 11 | 7 いろいろな音のひびきをかんとろう | ○楽器の音色や旋律の特徴に着目し、曲や演奏のよさなどを感じ取りながら聴きます。 |
| 12 | 8 ちいきに伝わる音楽でつながろう | ○日本の楽器の音色やリズムの特徴が生み出す曲や演奏の良さなどを見出しながら祭り囃子を聴きます。 |
| 1 2～ 3 | 9 音の重なりをかんじて合わせよう | ○友達と声や音を合わせて表現の仕方を工夫したり、旋律が重なり合う良さなどを感じて聴いたり演奏したりします。 |

【評価について】

- (1) 音楽のよさや美しさを感じ取って表現したり、音楽づくりをしたりしている。
- (2) 自分の歌声や発音に気を付けてきれいな声で歌ったり、リコーダーに親しんだり、簡単な旋律を演奏したりしている。
- (3) 音楽に関心をもち、音楽活動を楽しみながら表現したり、旋律やリズムに気を付けて聴いたりしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆自分の思いを大切にし、表現することを乐しみます。
- ◆頭声発声を意識したり、リコーダーの演奏技能を身に付けます。
- ◆友だちと互いに聴き合いながら曲のよさを見つけ、表現を考えます。

3年生「図画工作」

【第3学年の目標】

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や考じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

| 月 | 学習すること | 学 習 の ね ら い |
|----|-------------------------|--|
| 4 | 絵の具と水のハーモニー | ○点や線、面などの形や色、強弱などのから生まれるリズムに水を加えることからできる色やにじみの変化やおもしろさを味わいながらかくようにします。 |
| | ふわふわ空気のみ木 | ○空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動します。 |
| 5 | ねん土ランドへようこそ | ○友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくります。 |
| | ふくろの中には、何が… | ○身近な材料を使って、紙袋の中に自分だけの世界をつくります。 |
| 6 | ふしぎな乗りもの | ○身近なものがどんな乗り物になったら面白いと考えて、絵に表します。 |
| | にじんで広がる色の世界 | ○白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描きます。 |
| 7 | つかってたのしいカラフルねん土 | ○軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくります。 |
| | 光サンドイッチ | ○色セロハンをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくります。 |
| | あみあみ大きくせん | ○網を使って場所を生かした活動をします。 |
| 9 | でこぼこさん大集合 | ○凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表します。 |
| | 集めて、ならべてマイコレクション | ○自然の材料を集めて空き箱に自分らしく詰めたり並べたりします。※鑑賞として、「小さな美術館」 |
| 10 | トントンくぎ打ち、コンコンビー玉 | ○板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊びます。 ※金づちと釘の使い方に慣れる。 |
| 11 | 未来にタイムスリップ | ○将来自分がなりたい夢を想像して絵に表します。 |
| | さわってわくわく | ○身近な材料の触り心地を生かして貼り、絵に表します。 |
| 12 | だんだんだんボール | ○いろいろな形や大きさの段ボール箱を重ねたり並べたりするなど、体全体でかかわりながら材料に親しみ、材料や場所のよさから思いをもったり、友達と話し合ったりしながらつくるようにします。 |
| 1 | 生まれかわったなかまたち | ○古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表します。 |
| | のこぎりひいて、ザク、ザク、ザク | ○のこぎりで角材を切り、形を組み合わせで思いついたものをつくって楽しむようにします。 |
| 2 | 線と線が集まって（形と色でショートチャレンジ） | ○線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表します。 |
| | へん身だんボール | ○段ボール箱を切ったり、穴を開けたり、つなげたりして変身できるものをつくって遊びます。 ※段ボールカッターに慣れる。 |
| 3 | みんなでオン・ステージ | ○輪ゴムと空き箱や容器を使って弦楽器をつくり、音の出る仕組みを理解して、みんなで協力して演奏会を楽しむようにします。 |

【評価について】

- (1) 造形的な視点について自分の感覚を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して、創造的につくったり表したりする。
- (2) 造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方について考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げる。
- (3) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようという態度を養う。

【学習の特色や工夫】

- ◆子どもの思いを大切に、表現することを楽しみます。
- ◆身近素材を使っていろいろな方法で作品をつくります。
- ◆自分の作品のよさや友だちの作品のよさを見つけ、鑑賞します。

3年生「体育」

【第3学年の目標】

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

| 学期 | 学習すること | 学習のねらい |
|----|--------------|---|
| 1 | 体ほぐし | 手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり 合ったりする基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | 鉄棒運動 | 支持系の基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | めがねリレー | 調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | かけっこ | 調子よく走ったりするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | 伝統踊り | その主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊るなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。(伝統を大切にし、郷土を愛する心を持たせること) |
| | 多様な動き | 体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせるなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | 保健(毎日の生活と健康) | 健康な生活について理解すること。 |
| | 水泳 | け伸びや初歩的な泳ぎをするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| 2 | タグラグビー | 基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | キャッチバレー | 基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | 多様な動き | 体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせる基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | マット運動 | 回転系や巧技系の基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | ラインサッカー | 基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| 3 | 短縄・大縄 | 行い方を知るとともに、体のバランスをとったり、移動をしたり、用具を操作したり、力試しをしたりするとともに、それらを組み合わせる運動をすること。 |
| | リズムダンス | リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊るなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | ミニハードル | 小型ハードルを調子よく走り越えるなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | 跳び箱運動 | 切り返し系や回転系の基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |
| | ポートボール | 基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをするなどの基本的な動きや技能を身に付けるようにする。 |

【評価について】

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにしたか。
- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養えたか。
- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養えたか。

【学習の特色や工夫】

○1時間の授業の行い方

- ① あいさつ、健康観察・・・元気にあいさつします。心と体の状態を確認します。
- ② 準備運動、慣れの運動・・・筋肉や関節の可動範囲や呼吸循環器の機能を高めます。
- ③ 主運動・・・それぞれのめあてにむかひ運動します。
- ④ 学習のまとめ・・・自己評価や相互評価を行い、学習の成果を確認します。
- ⑤ 後片付け、整理運動、あいさつ・・・協力して安全に片付けます。軽い運動で緊張をほぐします。

○今日の授業での自分のめあてをもたせて課題を解決する学習を進めます。(めあて学習)

○3年生の重点教材・・・かけっこ、かけ足、一輪車、跳び箱運動、面かぶりクロール、ポートボール、タグラグビー

3年生「道徳」

【第3学年の目標】

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解をもとに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

| 月 | 教材名 | ねらい |
|----|-------------------|--|
| 4 | 貝がら | 相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っているときにはお互い助け合おうとする心情を育てる。 |
| 5 | 金色の魚 | 身勝手にわがままな行動や発言を抑制し、周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする態度を養う。 |
| | ソフトボールで金メダルを上野由岐子 | 自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き、粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。 |
| | 目の見えない犬 | 自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのもを大切にしようとする心情を育てる。 |
| | アメリカから来たサラさん | 外国の人々との間にある言語や文化、考え方の違いについて考え、外国の人々や文化を尊重する心を持ち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。 |
| 6 | フローレンス・ナイチンゲール物語 | 自分だけの思いから発した親切と、相手の立場で考えた親切の違いに気付き、相手への真心のこもった親切をしようとする心情を育てる。 |
| | あと、ひと言 | 相手に関係なく、自分の正しいと思ったことは自信をもって行おうとする態度を養う。 |
| | しんぱんは自分たちで | 誰に対しても、公正、公平な態度で接することの大切さに気付き、進んで正義を実現しようとする態度を養う。 |
| 7 | ひきがえるとろば | 命あるもの全ての大切さに気付き、様々な生命を大切にしようとする態度を養う。 |
| | けい君の秋田竿燈まつり | 郷土の伝統や文化を受け継ぐためにされている人々の努力やそこにこめられた思いに気付き、その伝統や文化を大切にしていこうという気持ちを高める。 |
| 9 | まっかな夕日 | 美しい自然の尊さやそれを感じとる心をもっている自分に気付き、美しいものや気高いものに素直に感動する心情を育てる。 |
| | 見つからないリコーダー | 自己中心的な気持ちから行動するのではなく、欲望を抑えて、自分のできることは自分でやることや、安全に気を付けて行動することのよさを考え、進んで節度ある生活を送ろうとする意欲を高める。 |
| | なかよしポスト | 明るい学校生活を送っていくためには、相手を進んで支えたり励ましたりすることが、集団生活を送る上で大切であることに気付かせることを通して、楽しく学校生活を送っていこうとする心情を育てる。 |
| | 心にひびくかねの音 | 間違っていると感じる物事を見過ごさず、よいと思うことを進んで行うための判断力を育てる。 |
| | おじいさんの「こんにちは」 | 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって挨拶しようとする態度を養う。 |
| | みんなの学級会 | 自分と異なる意見であっても、相手の言葉に耳を傾け言葉の裏側にある思いに気付かせることを通して、相手を理解して行動していこうとする判断力を育てる。 |
| 11 | 一まいの銀貨 | 家族の無償の愛に気付き、父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って温かい家庭をつくらうとする心情を育てる。 |
| | 心をつないだ合言葉 | 自分の住んでいる地域は、そこに住むたくさんの人々が郷土を大切に思う気持ちで守られてきたことに気付き、自分の郷土を大切に思う心情を育てる。 |
| | 絵葉書と切手 | 友達との心のつながりの大切さを自覚して、互いに信頼し合い、助け合おうとする心情を育てる。 |

| | | |
|----|-----------------|--|
| | ぼかぼか言葉 | 動作化や役割を演じるといった、体験的に理解する活動を通して、言葉には人をうれしい気持ちにさせる言葉と、反対に傷つけてしまう言葉があることを理解し、相手の気持ちを考えて適切に使おうとする態度を養う。 |
| 12 | パラリンピックにねがいをこめて | 障害の有無に関わらず誰もが住みやすい社会の大切さに気付き、誰に対しても分け隔てなく接しようとする心情を育てる。 |
| | ハチドリの一としく | 自然のすばらしさや偉大さを理解し、大切に守ろうとする心情を育てる。 |
| 1 | すきなことから 高橋尚子物語 | 目標を実現するためには、あきらめずに粘り強くやり抜く強い意志が必要であることに気付き、向上心をもって継続して取り組もうとする態度を養う。 |
| | かねつきどう | 自分たちの安全で安心な日々の生活を支えているのは地域の人たちのおかげだということに気付き、感謝の念を深める。 |
| | 言い出せなくて | 正しいと判断することの大切さを考え、自信をもって行動しようとする態度を養う。 |
| 2 | 家のパソコンで | 危険から身を守るために約束やきまりがあることを考えさせ、自分勝手な行動を慎み、約束やきまりを守って安全に過ごそうとする態度を養う。 |
| | 思いをこめて | 様々な国の文化が違う人々との支え合いの中で心がつながるよさについて考え、他国の人々や文化を大切にし、互いを思い合い、助け合っていこうとする態度を養う。 |
| | 明るくなった友だち | どんな友達であっても互いに理解し、困っているときには進んで助けようとする判断力を育てる。 |
| 3 | メニューにない料理 | 相手の立場を考えて行動することの大切さに気付き、進んで親切な行いをしようとする心情を育てる。 |
| | 幸福の王子 | 気高いものに気付き、積極的に触れようとする心情を育てる。 |

【評価について】

- ◆内面的資質である道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではないので、道徳においての数値の評価はしません。道徳の時間での発言、グループでの話し合いの様子、ワークシートやノートへの記入、役割演技、自己評価、相互評価などから、記述による評価としています。

【学習の特色や工夫】

- ◆道徳の授業は主に
 - 自分自身について（生活習慣・善悪の判断・誠実・勤勉・努力・責任・個性伸長など）
 - 人とのかかわり（礼儀・思いやり・感謝・友情・信頼・相互理解・寛容など）
 - 集団や社会とのかかわり（規則・公正公平・正義・家族愛・集団生活・伝統文化・国際理解など）
 - 命や自然・崇高なものとのかかわり（生命の尊さ・自然愛護など）

といった4つの内容項目に分類されています。

道徳の学びは学校の授業の時間だけではなく、家族で過ごす時間、また動植物と触れ合う機会もあると思います。小さな命も大切にすることや、公共のマナー・きまりはなぜあるのかなど、さまざまな体験を通して、ご家庭でも話し合っただけると、今後の道徳の授業へと繋がっていくことでしょう。

授業では、場面絵や大型画面を使用して、児童の興味関心を深めたり、登場人物の心情を考えたりします。最後に自分のこととして、自己の生き方との関わりで考え、振り返りをします。また小グループでの話し合いや、ワークシートを使用したりして、自分の考えを深める工夫をしています。

3年生「外国語活動」

【第3学年の目標】

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

| 月 | 学習すること | 主な学習のねらい |
|----|--|---|
| 4 | 1 Hello! あいさつをして 友達になろう | <ul style="list-style-type: none"> 世界には様々な言語があることを知り、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 |
| 5 | 2 How are you? ごきげんいかが? | <ul style="list-style-type: none"> 表情やジェスチャーの大切さとともに表す意味の違いに気付き、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。 |
| 6 | | |
| 7 | 3 How many? 数えてあそぼう | <ul style="list-style-type: none"> 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付き、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 |
| 8 | 4 I like blue. すきなものを つたえよう | <ul style="list-style-type: none"> 色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする語や表現に慣れ親しむ。 |
| 9 | | |
| 10 | 5 What do you like? 何がすき? | <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする語や表現に慣れ親しむ。 |
| 11 | 6 ALPHABET アルファベットと なかよし | <ul style="list-style-type: none"> 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 |
| 12 | | |
| 1 | 7 This is for you. カードをおくろう | <ul style="list-style-type: none"> 形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 |
| 2 | 8 What's this? これなあに? | <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 |
| 3 | | |
| | 9 Who are you? きみはだれ? | <ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語のリズムなどの音声の違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 |

【評価について】

- 知識・技能
 - 思考力・判断力・表現力
 - 主体的に学習に取り組む態度
- 以上の3つの観点から、活動の様子を文章表記します。

【学習の特色や工夫】

- ・「聞くこと」「話すこと」を中心に、様々な言語活動を通して、語彙や表現を体得していきます。友だちや教師とのやり取りの中で、「できた」「わかった」「伝わった」などの達成感を感じながら、「楽しい」「もっと知りたい」「もっと学びたい」という気持ちに繋がっていくような活動を繰り返して行っていきます。

【保護者のみなさんへ】

- ・この時期は、英語に対する興味関心を高めることが大切です。週一回の外国語活動の日には、お子様と一緒に身の周りにある英語に触れ、学習した言葉や表現を使って、会話を楽しんでください。

3年生「総合的な学習の時間」

【第3学年の目標】

- (1) 身近な自然や環境の中で体験的な活動を通して自然の恵みに気づくとともに、関心をもつことができるようにする。
- (2) 古くからの伝統文化を大切にし、地域の良さや歴史を知ることができるようにする。
- (3) 地域のお年寄りに温かく接したり昔のことを聞いたりすることができるようにする。

| 月 | 学習すること | 学習のねらい |
|----------------------------|---|--|
| 4 5 6 7 8 9 | たんけん、発見、 馬室のしぜん (予想される活動) ・植物 ・花 ・動物 ・昆虫 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然や環境の中で体験的な活動を通して自然の恵みに気づくと同時に、関心をもつことができるようにします。 ・学校周辺の身近な自然に関心を持ち、調べたり、まとめたりすることができるようにします。 ・発表会を開いて、分かったことをみんなに知らせることができるようにします。 |
| 10 11 12 | まちのじまん こうのすのまつり ・ささら祭り ・的祭 ・天王祭 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の良さや歴史を知ることができるようにします ・古くから鴻巣に残る伝統文化を大切にしていこうとすることができますようにします。 ・話したり聞いたりしてコミュニケーションを大切にしようとするようにします。 |
| 1 2 3 | 調べよう 昔のくらしと遊び (予想される活動例) ・昔の料理 ・昔の道具 ・昔の学校生活 ・昔の遊び (こま、あやとり、 お手玉など) | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお年寄りに温かく接したり昔のことを聞いたりすることができるようにします。 ・お年寄りの生き方にふれながら、地域の昔の生活の様子を知り、今の自分を見つめることができるようにします。 |

【評価について】

- (1) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解している。
- (2) 生活の中から問いを見いだし、課題を立て、情報を整理・分析して、表現している。
- (3) 主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとしている。

【学習の特色や工夫】

- ◆自然・人・地域の中で、豊かな体験や活動を通して、思いや願いを大切にしたい児童主体の学習活動を展開することにより、課題解決力、表現力、豊かな人間性などの生きる力を育成します。
- ◆福祉や国際理解、コンピュータリテラシーに関する学習も、総合的な学習の時間の中で指導計画を立て、実施しています。

3年生「学級活動」

1 学級活動の目標

学級や学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

| | |
|--|---|
| 学級活動 (1) ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 | イ 学級内の組織づくりや役割の自覚 |
| 学級活動 (2) ア 基本的な生活習慣の形成 エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 | イ よりよい人間関係の形成 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 |
| 学級活動 (3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 理解 | イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 |

2 学級を単位として、協力し合って楽しい学級生活をつくとともに、日常の生活や学習に意欲的に取り組もうとする態度の育成に資する活動を行います。

| 月 | (1) 学級や学校の生活づくりへの参画 【24時間】 | (2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 【(2)(3)は合わせて12時間】 |
|----|--|---|
| | 予想される議題、活動 | 1 単位時間 短時間で指導する題材 |
| 4 | ・クラスのめあてを考えよう ・学級会の名前を決めよう | (3)ア 3年生になって (3)ウ 図書室を利用しよう |
| 5 | ・クラスが楽しくなる係を決めよう ・クラスのシンボルマークを考えよう | (2)ウ正しい自転車の乗り方 【交通安全教室】 |
| 6 | ・運動会のめあてを考えよう ・雨の日にやるゲームを考えよう ・校内スタンプラリーの計画を立てよう | (2)ウきれいな歯並びをつくろう 【歯科指導】 |
| 7 | ・校内スタンプラリーをしよう | (2)ウ 助け合う家族 ～私にできること～【性教育】 |
| 9 | ・係活動をもっと楽しくしよう | (2)ア 2学期のめあてをたてよう |
| 10 | ・クラスの歌をつくろう | |
| 11 | ・社会科見学のパスレクを考えよう ・学級文庫をつくろう | (2)エ バイクで給食を考えよう (栄養のバランスについて) 【食育】 |
| 12 | ・本を紹介する会の計画を立てよう ・本を紹介する会をしよう | (3)ア 冬休みの過ごし方 |
| 1 | ・新しい係を考えよう | (2)アイ 言葉遣いについて |
| 2 | ・昔遊び大会を開こう ・6年生に感謝の気持ちを伝えよう | (3)ア クラブ活動を見学しよう 2 時間扱い |
| 3 | ・クラスの得意なこと発表会を開こう | (3)ア もうすぐ4年生 |

3 学級活動では、(1)、(2)、(3)それぞれ次の3つ観点から子どもの学習の様子を評価します。

| |
|---|
| <p>学級活動(1) 活動の様子</p> <p>[1] 学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。</p> <p>[2] 学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。</p> <p>[3] みんなで学級生活を楽しくすることの大切や、学級集団としての意見をまとめる話し合活動の基本的な進め方などについて理解している。</p> <p>学級活動(2)(3)の活動の様子</p> <p>[1] 自己の身の回りの問題に関心をもち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。</p> <p>[2] 学級生活を楽しくするために日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。</p> <p>[3] 学級生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。</p> |
|---|

4 学習の特色と言語活動の充実を図る工夫

| |
|--|
| <p>[1] 学級活動(1)では、学年、学級での計画、児童からの議題などから児童と一緒に計画を立てます。</p> <p>[2] 実践したことや体験したことを自分の言葉でまとめ、発表し合ったり、記録文に表したりします。</p> |
|--|